

外来診療体制表

			月	火	水	木	金	土
内科	午前	総合内科 外来①	鷺見 順教	伊壺 友希	平林 直章	横川 清	油井 瞭太郎 (第1・3・5週) 上島 翔太 (第2・4週)	交代制 (第5休診)
		総合内科 外来②	小林 奈津子 (消化器内科)	牧内 雅信 (循環器内科)		八木 ひかる	八木 ひかる	
		総合内科 外来③	牛山 雅夫(11時迄) (脳神経内科)		小平 睦月 (循環器内科)	原 悠太 (腎臓内科)	塚平 俊久 (消化器内科)	
	午後	予約診療		平林 直章	北原 明倫	北原 明倫	伊壺 友希	
		予約診療	伊壺 友希	福留 恵子	北原 明倫		北原 明倫	
	夜間	予約診療			塚平 俊久(第3週) 清水 信明(第3週)			
循環器	午前	予約診療		牧内 雅信 小平 睦月	牧内 雅信	牧内 雅信 小平睦月(第2・4週) (失神外来)	牧内 雅信	清水 信明(第4週)
	午後	予約診療			清水 信明 (第1・2・4・5週)			
消化器内科	午前	予約診療	塚平 俊久	関口 恭弘	塚平 俊久 関口 恭弘	塚平 俊久 小林 奈津子 関口 恭弘		塚平 俊久(第4週)
	午後	予約診療			塚平 俊久 (第1・2・4・5週)			
脳神経内科	午前	予約診療			牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫(月1回)
	午後	予約診療	牛山 雅夫					
呼吸器内科	午前	予約診療						
	午後	予約診療				八木 ひかる	八木 ひかる	
腎・内分泌	午前	予約診療	熊谷 悦子				原 悠太 横田 昌 (第1・2・4・5週)	熊谷 悦子(第1週)
	午後	予約診療	熊谷 悦子(DM) (第2・3・4・5週) 原 悠太(第1・3週)	熊谷 悦子 (CAPD)第1・3週 (HDD)第2・4週	熊谷 悦子 (第1・2・3・5週は CKD外来あり)			
嚥下外来	午後	予約診療		福村 直毅				
整形外科	午前	予約診療	平林 直章					
もの忘れ	午前	予約診療	北原 正和(第1なし)		牛山 雅夫			
	午後	予約診療						
精神科	午前	予約診療			服部 美秀			服部 美秀(月1回)
	午後	予約診療			服部 美秀			
	夕方	予約診療			服部 美秀			
脳神経外科	午前	予約診療		北原 正和		北原 正和(第1・3・5週)	北原 正和	
	午後	予約診療		北原 正和 (第1・2・4・5週)	前澤 浩	北原 正和 (第1・2・4・5週)		
外科	午前	当日受付	本田 晴康	赤澤 智之	交代制	津澤 豊一	津澤 豊一	休診
		予約診療	本田 晴康	本田 晴康 赤澤 智之	林 誠一(振動病) (第1・2・3・4週)	津澤 豊一	赤澤 智之 (第1・2・4・5週) 津澤 豊一	本田 晴康(第3週)
	午後	予約診療				熊谷嘉隆(第3・5休診)		
乳腺	午後	予約診療	本田晴康 (第3、偶数月) 赤澤智之 (第3、奇数月)					
肛門外来	午後	予約診療					本田 晴康(第2・4週)	
泌尿器科	午前	当日受付	熊崎 匠	熊崎 匠		熊崎 匠	熊崎 匠	熊崎 匠(第2・4週)
形成外科	午前	予約診療	矢高 森人				矢高 森人	
	午後	予約診療		矢高 森人	矢高 森人			
小児科	午前		和田 浩	和田 浩	和田 浩	鈴木 / 光武(交代制)	和田 浩	和田 浩 (予約のみ)月2回
	午後			和田 浩	和田 浩	鈴木 / 光武(交代制)		
	夕方		和田 浩				和田 浩	
禁煙外来	午前	予約診療				八木 ひかる		
睡眠時無呼吸 症候群外来	午前	予約診療						八木 ひかる (第1・3週)
	午後	予約診療				前澤 浩		



〒395-8522

長野県飯田市鼎中平1936

病院 受付

TEL.0265-23-3115

FAX.0265-23-3129

地域連携室

TEL.0265-23-3269

FAX.0265-23-3198

No.16

2024 年

秋号

KENWAKAI
HOSPITAL
MAGAZINE
2024 年10月発行

ゆめかなえ

健和会病院 広報誌

健和会職員訪中記
元731部隊員とともに

失神外来紹介

リハビリテーション科
摂食嚥下障害者に対する実技講習会

形成外科・飯田交響楽団の話
矢高森人医師インタビュー



形成外科、音楽のことなど

形成外科では何を診るのですか？

形成外科はイメージしやすく言うと「皮膚の外科」です。ただ、顔面の骨折や眼瞼の治療もしますし、守備範囲が広くて他の診療科と重なる部分も少なくありません。

整形外科・美容外科との違いは何ですか？

整形外科は主に骨・関節・筋肉などの「運動器」を診ます。「手の外科」という特別な分野もありますが、これは整形外科、形成外科どちらにも専門にしている方がいます。

美容外科との違いは、例えば事故で鼻がつぶれてしまった人の鼻を「もとに戻す」のが形成外科で、元々の鼻を今より高くするのが美容外科です。あるいは乳ガンで乳房切除された方の乳房を再建するのが形成外科、豊胸術は美容外科になります。病気ではないため美容外科では自費診療となりますし、当院では扱っておりません。

どんな症状の方の受診が多いですか？

皮膚や皮下の腫瘍（良性・悪性）が多いのですが、あとは眼瞼の下垂や内反、熱傷、キズ跡（瘢痕・ケロイド）、腋臭症（ワキガ）などですね。飯田下伊那地域では飯田市立病院にも形成外科がありますので、当院で対処が難しい患者の治療をお願いしています。

透析患者のシャントの手術（人工透析のための血管を作る）も行っています。ただ、患者数が多いため 1 人では対応ができないことがあって、その場合は他の施設に依頼せざるを得ないというのが現状です。

じょくそう 褥瘡やフットケアへの取り組みをされていると聞きました

褥瘡とは一般的に「床ずれ」と呼ばれているものです。25 年前に赴任した時には、常に 20 人くらい入院患者に

褥瘡がありまして、大きく深い潰瘍も多くて積極的に手術で治療していました。その後、褥瘡対策委員会が組織され、看護師だけでなくリハビリテーション科や栄養科の職員にも入ってもらい、予防や対処方法などを院内に浸透させるよう働きかけてきました。これによって現在では軽症の患者が数名程度になっています。このような「褥瘡をなくす」流れはどの医療機関でも進められていますし、一般的にも意識が高まっていると思いますね。

往診患者さんの褥瘡も件数が減っていて、訪問看護で撮られた画像を電子カルテで見たり、ショートステイの時などに診察することによって、今は私自身が往診に出向くことはなくなっています。

フットケアについては、外来では主に足の爪の変形やウオノメを診ています。また、透析患者や糖尿病・動脈硬化などで生じる「壊疽」の治療に当たっています。形成外科ではキズの部分を保存的・外科的に処置していますが、1 番の原因が血管・血流にありますので循環器内科による評価と血行再建、さらにリハビリテーション科による術後の装具調整・歩行訓練など、連携したチーム医療で成果を上げていると思います。予防にも力を入れたいのですが、もとの病気が重いとなかなか難しいですね。

皮膚排泄ケア認定看護師

林 洋子

認定看護師になって 12 年目になります。院内の創傷の評価等、キズを診るスペシャリストの形成外科の先生がいることが学びにつながっています。



飯田交響楽団の団長だと聞きました。今年創立 31 周年を迎えるそうですね

創立時からの団長が私の父でして、世襲というわけではないのですが跡を継いで 8 年になります。

音楽が趣味で、クラシックだけでなくロックやジャズも好きなんです。小学校の時にヴァイオリンを習っていまし



たが、中学で吹奏楽部に入ってホルンを始めて、医学部のオーケストラではヴァイオリンとホルンの二刀流でした。

飯田交響楽団は現在 30 名ほどの団員で活動しています。大きな演奏会の時には伊那や諏訪などのアマチュアオーケストラから支援をしてもらったり、飯田在住の楽器を弾ける方にも依頼しています。当院の赤澤智之医師もその 1 人です。

団長の役割は何ですか？

組織運営のまとめ役ですが、対外的には団の顔という立場ですかね。また団長とは別にコンサートマスターとしても 25 年務めてきました。コンサートマスターは「演奏上のリーダー」で、指揮者の意図を全体に伝えて統率する役割があります。

今年はイベント等企画されているのでしょうか？

新型コロナの関係で創立年とずれてしまっていますが、30 回の記念演奏会を今年開催します。いろんな方に楽しんでもらえるようなプログラムを準備しています。

25 周年の時は、飯田市で開催されていた「アフィニス夏の音楽祭」の時の縁で、下野竜也さん（現 NHK 交響楽団正指揮者）に指揮をお願いしました。この時の声かけにはプロの演奏家も 10 人ほど賛同して出演してくれたんですよ。

※アフィニス夏の音楽祭：アフィニス財団が主催するセミナー音楽祭。飯田市は開催地として 20 年務めた。

「オーケストラと友に音楽祭」について教えてください

アフィニス夏の音楽祭が終わった後、そこで育まれた音楽文化を継続していくためにオーケストラと友に音楽祭（以下 オケ友）が生まれました。アフィニス音楽祭での成果をもとに、市民のための「学ぶ、楽しむ、もっと身近に」という理念が中心にあります。私は音楽事業委員長という立場です。

オケ友は、市民とプロオーケストラと行政が一緒になって作り上げる音楽祭で、実行委員会は市民主体なんです。これは飯田独特のスタイルで、人形劇フェスタなども同じ形式で運営されています。オケ友には、健和会病院を初め



地域の企業や個人が協賛してくれていて、飯田の文化を守り、応援していただけるのでとてもありがたいです。

病院の健康まつりでは「医局座」の脚本を書かれていたそうですね

入職した年に「新入医師が脚本を書くことになっている」と言われて、それからずっと書くことになってしまいました。一番力を入れて書いた脚本は「怪人二十面相」ですね。小道具製作にも相当時間をかけましたし。ウケが良かったのは「西遊記」でしょうか、山本ひとみ先生が三蔵法師役でした。医局座は牛山雅夫先生が看板女優（？）で大人気でしたが、新型コロナの影響でそれっきりになってしまいました。

※医局座：健和会医師の劇団。「健和会健康まつり」のトリを飾る。

趣味が多いのは父の影響もありますが、祖父の存在がとても大きいですね。小さい頃、実家の離れに住んでいた祖父のところにしょっちゅう遊びに行っていました。祖父は医師を引退した後、釣りをしたり、絵を描いたり、詩やエッセイを書いたり、と好きなことをいろいろやっていて、その姿を見ていましたから。

私も絵を描くのが好きなので、リタイアして時間ができたら取り組みたいですね。油彩画とか。あ、まだまだ引退は先の話になります。

健和会病院 形成外科

矢高森人 医師

飯田市出身

1990 年 東邦大学卒業

1999 年 健和会病院入職





えんげ

嚥下障害実技講習会 開催

健やかな生活にはいろいろな条件があります。そのうちとても大切なことが安全で十分な栄養摂取です。安全でなければ肺炎や窒息で命が脅かされますし、十分でなければやせ衰えて命にかかわるうえに持てる能力が発揮できなくなります。嚥下障害治療はこういった危険から身を守り最適な生活を獲得するために必要です。そして食生活が営まれるあらゆる場所で嚥下治療が求められています。

嚥下治療の特徴は大きく二つあります。一つは嚥下障害があるとこれまでの食べ方が危険になるということです。ですから嚥下障害があっても自由に食べる、ということは危険を受け入れるということになります。安全に生活するためには何らかの工夫を受け入れる必要があります。はたして自分や目の前にいる人が嚥下障害であるのか。そう考えるのが嚥下治療の入り口です。嚥下障害の可能性が高いかを知る方法が嚥下スクリーニングです。

もう一つの特徴は治療のための工夫は患者だけではなく周囲の人たち、社会が積極的にかかわる必要があるということです。嚥下食の調理、提供やとろみ剤の活用、そして食事摂取時の姿勢や一口量の理解が嚥下治療の実践につながります。

今回の嚥下実技講習会は適切な嚥下治療が正しく認

知され広がるように企画されました。コロナ前にも実施されていましたが集合学習が困難になったことで中断されていたのです。実に 5 年ぶりの開催となりました。学習の核となるのは①嚥下障害の理解、②代表的スクリーニングの実施ができる、③適切な一口量を知り再現できる、④重度嚥下障害に適応できる食事姿勢を知り再現できることです。これらの知識と技術を獲得した人が増えると地域で生活する嚥下障害を持った人たちが安心して安全に暮らせるようになります。さらに学習を深めると、安全でありながらより希望に近い食習慣を獲得する支援ができるようになります。嚥下治療の基本となる学習会を継続するとともに次のステップを目指す方々の学習支援、診療支援が求められています。当院では地域、施設などの要請にお応えして様々な難易度の学習会を提供してきています。また嚥下障害対策導入や経過確認のために嚥下内視鏡検査を往診や外来、診療支援で年に 1000 件近く実施しています。これからもよりよい技術の開発と QOL(生活の質) 追求のための医療を展開していきます。

健和会病院総合リハビリテーションセンター長

福村直毅

今回の実技講習会の体験内容は 3 つ。反復唾液のみテスト・一口量の計測・安全な姿勢の作り方についてグループに分かれて体験をしていただきました。

反復唾液のみテスト

嚥下スクリーニングとして特別な機械は必要なく嚥下障害を疑う方々を拾い上げることができる方法です。互いののどを触って体験しました。

参加者の感想

実際に自分の体感で試すことができました。



一口量の計測

嚥下治療の基本が必要な栄養を安全に摂取することです。一口量が増やせると本人や介護者にとって有利な点がたくさんあります。実際に測定することで普段との違いを感じていました。

参加者の感想

一口量は思っていたより多く目からウロコでした。



一口量 20 g で体験しました。

姿勢の作り方

安全な食事姿勢の理論を知ったうえで実際に姿勢介助を体験したことで現場に戻ってから再現できる自信を持ったようです。



咽頭喉頭モデル(のどの模型)で液体の流れ方を見えています。



姿勢崩れを防ぐためにクッションを抱えてもらいます。

参加者の感想

側臥位での飲み込みを体験し、仰位(角度のある)よりも飲み込みやすく恐怖心も少ないことがわかりました。

模型を使用しながら姿勢の違いによる嚥下の様子の違いがとてわかりやすくイメージしやすかったです。

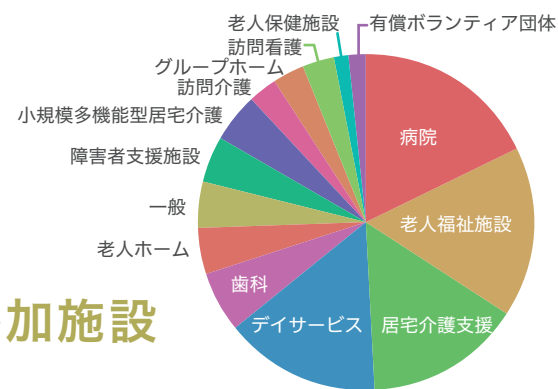
今までベットギャッチアップ 30° で食事介助していました。今日の講習を持ち帰り改善していこうと思います。

今回の講習会では飯伊地区からはもちろん、県内様々な地域からたくさんの方に参加いただきました。嚥下障害実技講習会は年一回開催を計画しています。情報は改めてホームページへ掲載予定です。

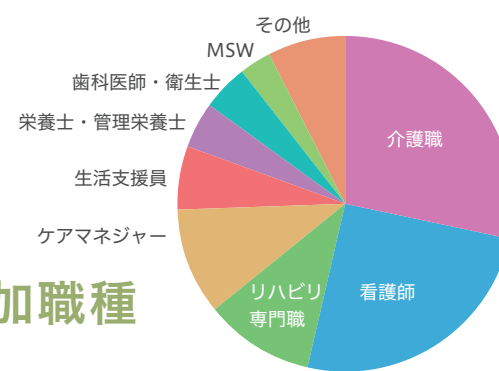


健和会病院 H P

参加施設



参加職種



失神外来 担当医師、小平先生に聞きました！

Q：失神外来とは何ですか？

A：失神とは医学的には“脳全体に十分な血液が供給されず、一時的に意識を失う”状態のことを言います。自律神経の調節がうまくいかない、血液量が少ない、心臓疾患（不整脈、弁膜症）など原因が様々で、様子を見てよい軽症のものから致死的な疾患もあり、重症度も違います。まず何科を受診したらよいかわからない症状でもあり、まず相談できる外来として開設しました。

Q：どんな症状の方が受診するとよいですか？

A：繰り返す原因不明の失神の方が対象となります。失神は意識障害とは異なり、元に戻るため病院などに受診されずにそのまま生活する方も多いです。高齢であったり、多くの疾患をお持ちの方では重篤な疾患が隠れていることがあるので一度受診していただくことをお勧めします。

Q：受診の流れを教えてください

A：週1回の予約の外来となります。繰り返す失神の症状があれば、病院に連絡いただき予約を取っていただくか、他院の先生からの紹介も受けていますのでかかりつけの先生に相談いただき連絡を頂ければと思います。

Q：治療はどのように行われるのでしょうか

A：“原因”によって治療が異なります。この“原因”の特定が難しく、失神していないときは症状やデータの異常がないことが多いため、一般的な検査のみではわからないことが多いです。自律神経系の検査や頭部の特殊検査、植込み型心電計を入れて次の失神が生じるまで定期的に通院していただくことが必要な場合もあります。

失神は予想しないところで出現して生活に支障が出たり、重篤な疾患が隠れていたり、普段は隠れている“犯人”のようなものです。お困りの際は交番のように“失神外来”へ相談いただければと思います。

小平睦月 医師

下伊那郡高森町出身

2012年 福井大学卒業

2019年 健和会病院入職

失神外来のご案内

第2・4木曜日 午前中（要予約）

電話：0265-23-3115

着任医師紹介

2年前から松本にある研修病院で内科を中心に勉強していました。認知症や脳卒中といった脳の疾患、高次脳機能障害にも興味があり、健和会病院の回復期リハビリテーション病棟で研修したのが飯田との最初のご縁です。当時、福村先生の嚆下診療往診に同行して街のあちこちを見たのは良い思い出です。リハビリテーションの基本をここで教わり、この仕事をしたいと思いました。専門研修が始まってから（信州大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修プログラム在籍中）、スタッフと一緒にリハビリテーションとは何かを思考する毎日です。長期の入院は試練の側面もありますが、良い生活習慣を持ち帰るというプラスの面がある、との思いで診療しています。私の目標は「地域の健康を守る」です。夏の青いりんご畑、街中で花がた

くさん育てられている飯田の美しい景色、こうした地域の魅力はたくさんの人の生活が支えているのかな、と思います。皆さんの存在を感じながら元気に精進したいです。これからもよろしくお願いいたします。

なるもとはるか

成本悠 医師

愛媛県松山市出身

2022年 愛媛大学卒業

2024年 健和会病院入職



健和会
職員会
訪中記

元731部隊員とともに

戦時中の旧満州で細菌兵器の開発や人体実験を行っていた関東軍防疫給水部（731部隊）の元少年隊員・清水英男さん（宮田村）が同部隊の跡地（中国ハルビン市）を79年ぶりに訪れるにあたり、労働組合執行委員長の伊壺一輝さんが同行しました。



『訪中に至るまでの経過』

私は、飯田民医労や地区労連という団体を通じてですが、平和祈念館設置に関わる会議に関わっていました。今は、飯田市平和祈念館を考える会の会員として関わっています。2015年の戦争展に清水さんが観覧に訪れ、自分が元731部隊の少年兵であったことを明かされました。今回の訪中にあたり、考える会から派遣の格好で同行をしました。

『訪中の様子』

ハルビン空港での取材陣の数はワイドショーの映像で見えるような現場風景でした。移動や見学の際にも私服姿の方々が警護という格好で付いていました。清水さんの宿泊する隣の部屋は、大勢の私服警護のみなさんがいました。6月に中国東部の江蘇省蘇州で日本人学校のスクールバスが、刃物を持った男に襲われ、日本人の親子などがケガをし、男を止めようとして中国人の女性が刃物で刺されて死亡した事件があり、その影響かと思いますが、かなり厳重な体制が取られていたようです。旅行で見学予定であった施設、旧日本領事館や安重根記念館などはエリアに近づかないように指示があり、見学が出来ませんでした。



「部隊の一員であったことは忘れることはできない」当時14歳、細菌兵器の実験の手伝いも…旧日本軍・731部隊の一員だった男性が79年ぶりに跡地を訪問 | TBS NEWS DIG



731部隊の元少年隊員 79年ぶりに中国の跡地訪問「日中間係良くしたい」（2024年8月13日）

『感想』

中国メディアは、謝罪したことについて大きく取り上げてくれています。清水さん自身も「731の細菌戦部隊に入隊して侵略犯罪行為の手先になってしまったことを、後悔と謝罪の気持ちを抑えることができない」と思っています。このことは個人の問題で済まされません。過去、日本人が人権を脅かし倫理観のない行為に及んだこと。その先頭にいたのが医師であったこと。二度とあってはならないことであることを知る必要があると思いました。

『伝えたいこと』

清水さんは、個人として過去の行いを後悔し謝罪を行いました。清水さんが元731部隊の少年兵となるまでには、学校の先生のすすめなどその時代がどんな時代であったかも踏まえて考えないと個々の加害者をただ責める格好になってしまうと思います。世の中が向いている方向によって同じことが繰り返されかねないと感じました。

労働組合 伊壺一輝

健和会創立50周年記念式典

多くのみなさんのご来場お待ちしております。

50th

2024年11月23日（祝）9：30～11：40

場所：鼎文化センター 大ホール

記念講演：「健康格差社会への処方せん」

講師：近藤 克則 氏（千葉大学予防医学センター特任教授）

問合せ：0265-23-3116（代表）